



Jリーグのスタジアム基準による、アスルクラロ沼津 2023年問題を紹介

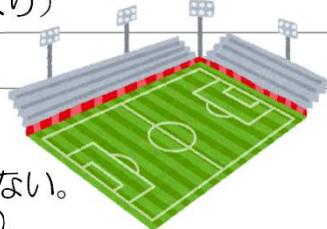
県東部地域唯一のJリーグチームである「アスルクラロ沼津」に関して、ホームスタジアムの要件が整わなければ現在のJ3リーグにも残れない、いわゆる「アスルクラロ沼津 2023年問題」があります。その概要についてご紹介します。

アスルクラ口沼津 2023年問題とは？

2023年シーズンの開幕（2023年3月を予定）までに、愛鷹競技場の照明を、より明るく（500ルクス→1,500ルクス）改修しなければ、Jリーグライセンスが発行されない。

ホームタウンである沼津市の考えは？

基準をクリアしなければ、本市のみならず静岡県東部唯一のJリーグチームがなくなってしまうことを意味する。照明設備の改修に向け、引き続きアスルクラロ沼津とともに施設管理者である県に相談を行っていく。（2020年3月2日、私への議会答弁より）



愛鷹競技場を所有する静岡県の考えは？

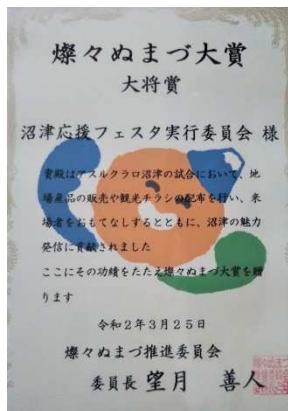
チームや沼津市に改修の許可を出す仕組みはある。ただし、次のような課題をクリアしてもらわなければ、ここから先の具体的な協議には進めない。

- ・愛鷹改修の技術的課題の検証（改修後の電気代・維持管理費予測ほか）
 - ・愛鷹改修や新スタジアム建設における市の具体的行動が入ったロードマップ作成

チームと沼津市による主体的な行動を起こすのが第一。その後、改修主体や費用負担者などが決まった後に、予算確保・設計・工事…と進みます。かなりの期間を要するため、今年の夏頃までに方向性を示す必要があると考えています。更に、J2昇格を目指すのであれば、照明改修土αも必要です。引き続き、鋭意取り組みます。



その他、駅北口でのビアフェス開催など、地域の賑わいや誇りを生み出そうと取り組みを重ねてきたことが評価されたのだと受け止めています。



仲間と共に設立・運営してきた「沼津応援フェスタ実行委員会」が、沼津の知名度向上や話題づくり、にぎわいづくりに顕著な貢献をした個人や団体を表彰する「燐々ぬまづ大賞」の「大賞」に選ばれました。

燐々ぬまづ大賞「大将賞」受賞

防災ラジオ



R4.11末で受信×に

固定電話 携帯電話



R2年度より運用開始

情報機器の扱いに不慣れな方々にとって大変便利で、約9,500台が利用されている防災ラジオは、電波法の改正に伴い、令和4年11月末をもって防災情報の受信ができなくなります。様々な状況にある方々が漏れなく情報を入手できる環境が必要です。災害時の情報伝達手段の一つとして、本システムに期待しています。



携帯電話・固定電話の両方に対応し、利用者の費用負担はありません。利用を希望される場合は事前の登録が必要です。運用の詳細が決まり次第、ご案内します。

同報無線による避難情報などを自動で電話通報し、音声案内するサービスが令和2年度より始まります。

災害時の情報伝達手段強化

高尾山古墳と道路の両立に向けたデザイン案が決定

古墳と道路の両立をどう図るのか、全国的にも注目されていた「都市計画道路 沼津南一色線」の最優秀提案者が決定しました。古墳保存の観点、周辺地域の景観との調和、利活用策などが評価されての決定となりました。

ふるさとの風景をつくる「みちにわ」

スケジュール（案）

令和2年度～ 道路測量設計
 令和4年度～ 道路工事
 古墳の国史跡指定
 令和10年頃 道路工事完了・供用
 令和10年代早期 古墳整備完了

■ 構造・トンネルデザイン

- ・古墳を一切破壊しない施工と構造デザイン
- ・古墳の魅力を引き立てる空間デザイン
- ・周辺のまちなみにも溶け込む形態デザイン

■ 古墳の保存・活用デザイン

- ・古墳の価値を守り、高める保存・活用計画
- ・墓造設時の姿をイメージできる復元デザイン
- ・日常的に古墳の魅力を味わえる活用デザイン

■ 利活用・プロセスデザイン

- ・古墳と周辺が一体的につながる空間計画
- ・古墳のある日常風景を生む居場所デザイン
- ・誇りと愛着を醸すプロセスデザイン



深田のぼるよりひとこと

新型コロナウィルス感染症に関する、沼津市の総合相談窓口が開設されました。TEL055-934-4803 TEL055-934-4758 です。ホームページをご覧になれる方は、沼津市役所のホームページ「新型コロナウィルス関連情報」もご覧ください。皆で力を合わせて、乗り越えましょう。

